

田取高の季節

一年三組

近藤

七牙樹

陽が笑う

ぼくと汗かく

かき氷

苦 し み を 幸 せ に	悲 しみ を 幸 せ に	時 は 流 水 る	時 と 共 に 心 が 変 わ り 人 が 変 わ る	今 の 幸 せ は 違 う 幸 せ に な る	時 は 流 れ る	友 達 と 一 緒 に 居 て も い つ か 変 わ る	今 が あ つ か 忘 れ る	苦 し い 時 が あ つ か 忘 れ る

変化

畠山

香穂

喪失

吉持 鳳真

宝物は大切だから宝物だ
大事だから失くさないようになります
大事だから傷つかないようにする

私にはそんなものないと思つてた
毎朝寝不足気味に起きて
ただ毎日を作業のように終える私には

まるで機械のようだ。
入力されたプログラムを
ひたすらひたすらこなすだけの

でも私は人間だ
だからあのようが感覚を見えた
胸には、かりやが空いたような感覚が
心がなぜ心臓の緑で表されるのかを理解した
かのようだ

今まじは何とも思つていたが、た

毎日のようになに会えたかう

失つてからだ気づくのは
もととしてあげたかうた二と
またくしこあげれなかうた二と

過去は変えれない
支えるのは未来だけ

ならば未来をどう生きるかだ

終思
わう
る間
い

本當に終
わうせたい
といふと
は

音立
てた
い
けど
立て
ない

良心
い
出も

でも思
い
出す
と
り

嫌な思
い
ばり

おわかれ
し

本当に伝
えた
い
二とほ
いの

音立て
た
いの
に立
た
い

一年二組

内山

八十